



2017年(平成29年)

6月8日

木曜日

中津港から中国へ 木材を定期的輸出

県北林業振興に弾み期待

中津市の中津港から中国へ向けた木材の定期的な輸出が始まった。木材輸出は県内では佐伯港と大分港が先行しているが、中津港でも始まったことで、県北地域の林業振興に

弾みがつくと期待されている。

木材卸会社「瀬崎林業」(本社・大阪市)が2日、中津市や日田市の原木市場などから集荷したスギとヒノキの丸太約2500立方



次々と船内に積み込まれる丸太＝中津市の中津港

材を中国船籍の貨物船に積み、中国・上海へ向けて出港した。

同社北九州営業所によると、中津港を使えば、中津市内の市場から中津港まで木材を運ぶ単価が1立方メートル当たり500円ほどで済み、ほかの港に運ぶより輸送費を減らせる。市場と港の間を1日に何度も往復できることから、輸送量の増加も期待できる。

伊与田秀一所長は「浮いた分は原木の購入価格に上乘せし、林業家に還元したい」と話す。

同社は中津港から年間約3万立方メートルの輸出を計画している。宇佐市や国東市などからも集荷している中津木材相互市場(中津市)の若松定生・代表取締役は「新たな木材需要が生まれる」と歓迎する。

海外への丸太輸出は地理的に有利さから九州が盛んだ。県北部振興局によると、県内では昨年、佐伯港が約4万6千立方メートルで全国4位、大分港が2万6千立方メートルで7位。中津港はこれまで単発的な輸出にとどまっておりましたが、昨年は約6千立方メートルだった。(大島正吾)

大分

大分総局
大分市城崎町2-1-11
TEL 097・532・3191
FAX 534・4395
メール s-oita@
asahi.com

別府支局 0977・23・1361
中津支局 0979・22・0085
佐伯支局 0972・22・0609
日田支局 0973・23・2525

購読・配達のご用は
(7~21時)
0120・33・0843